

楯大亮さん 名誉町民顕彰式

町長在職7期28年の労をねぎらい 町政に対する功績をたたえる

3月27日、前町長の楯大亮さん（幾寅・79歳）の名誉町民顕彰式が総合福祉センターで執り行われました。名誉町民の称号は、条例に基づき町政発展のため特に貢献された方に贈られるもので、昨年11月に開催さ

れた町議会臨時会において、町長が推薦し議決されました。

名誉町民は、寺西武雄さん、館内猛さん、新田義男さんに次いで、4人目となります。

楯さんは、昭和20年10月

に南富良野村に奉職以来26年余り、教育長、民生課長を歴任し地方自治の発展に貢献され、更に、昭和47年4月に町長に初当選以来、平成12年4月までの7期28年の永きにわたり在職されました。

この間、中心的指導者として町政の推進に邁進され、財政の健全化をはじめ、巡回窓口車「やまびこ号」の運行、富良野地区消防組合の設

立、テレビ中継局の開局、

町内循環バスの運行、国体カヌー競技の誘致、開基百年記念式典、振興公社の設立、沖縄県本部町との「友好の町」盟約調印など、公共事業の推進と住民福祉の向上のため、幅広い住民のニーズに答えながら堅実に町政の推進を果たされ、今日の南富良野町の基盤を築かれるなど、多大な功績を残されました。

また、在任中には北海道市町村林野振興対策協議会会長や全国山村振興連盟副会長など数多くの要職にも就き、全国の農山村振興にもその手腕を振るわれ、平成13年4月29日には、永年にわたり地方自治の振興発展に尽くされた功績が認められ、勲四等旭日小綬章の荣誉を受けられました。

この日挙行された顕彰式

では、池部町長の先導で楯さんご夫妻が入場され、参列者全員で町民憲章を朗読し、楯さんの経歴と功績が紹介された後、町長から名誉町民章と彰記などが贈呈されました。

べられました。出席された159名の関係者からは、受章に喜ぶ楯さんの労をねぎらい、功績をたたえて祝福の拍手が贈られました。

おそかに式が進められる中、池部町長の式辞、新田町議会議長の祝辞の後、楯さんから謝辞が述べ

